



invective™ 120

Amplifier Head

取扱説明書



はじめに

新たなメタルサウンドが登場。invective™ 120 は、Peaveyの代名詞とも言える6505シリーズのサウンドに改良や調整を加え、その集大成として誕生したアンプです。

綺羅びやかなCLEANチャンネルや、多様化する音楽スタイルに対応する多くの実践的な機能を搭載した本機は、人気バンドPeripheryのギタリストであるMisha Monsoorとの共同開発/設計により、チューブアンプの歴史における最高峰のサウンドが実現しました。

本機に搭載されている3つの独立したチャンネル(CLEAN/CRUNCH/LEAD)と、2つの独立したインプットゲインブースト機能(CLEANチャンネル用/CRUNCH・LEADチャンネル用)により、とても幅広いサウンドメイキングを可能にしました。

そして、歪みチャンネルに有効となるゲート機能は、ミュートプレイ時におけるギターのアタックをより正確に際立たせ、その効果は他のアンプと一線を画します。

120Wもの出力を誇るこのアンプは、invective212キャビネットと組み合わせてご使用いただくことにより、その脅威的なサウンドを体感していただくことができます。

そして、出力を半分に切り替えることができるため、大きな会場から、小さなクラブまで、演奏する規模に合わせて最適な音量で演奏することが可能です。

さらに、このアンプにはフットスイッチでコントロールできる外部エフェクトループが搭載されています。

付属のフットスイッチにより、チャンネルセレクトや各機能(ブースト/エフェクトループ)のON/OFF、そして各プリセットの保存を行うことができます。

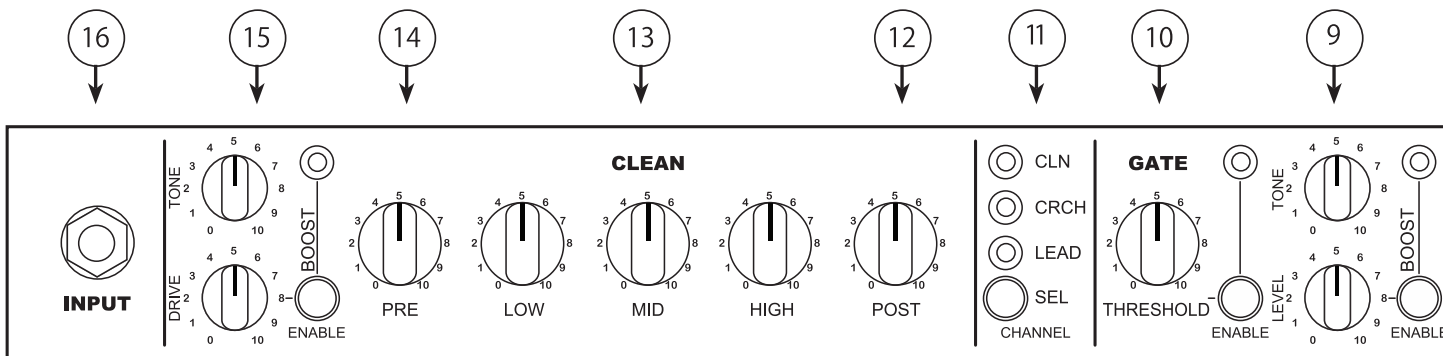
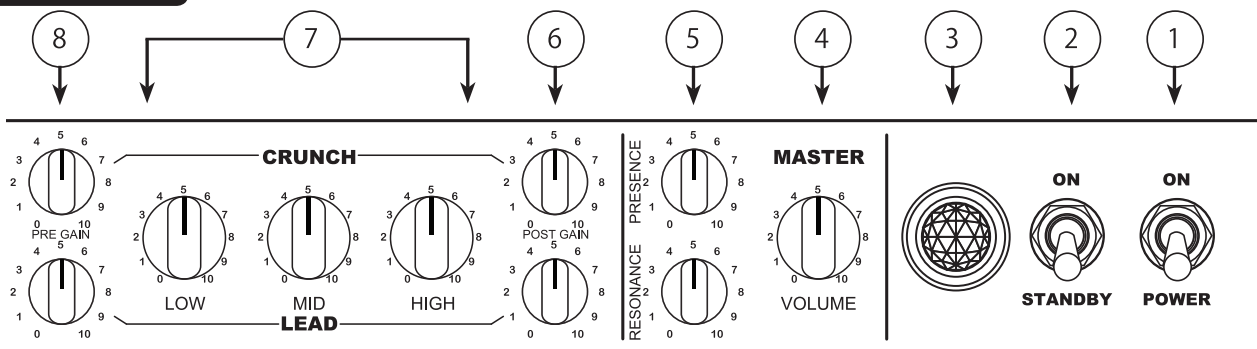
また、MSDI(マイクシミュレートダイレクトインターフェース/XLR)端子を使用してのライン出力や、外部エフェクターなどに使用できる2つの9VDC端子を搭載しています。

この新しいアンプPeavey® invective™ 120は、チューブギターアンプの歴史において必ずしや名機のひとつとなるでしょう。

仕様

- ・3チャンネル
- ・独立プリアンプゲインブースト機能 (CLEANチャンネル用) ゲイン&トーンコントロールノブ付き
- ・独立プリアンプブースト機能 (CRUNCH&LEADチャンネル用)レベル&トーンコントロールノブ付き
- ・ゲートノブ(CRUNCH&LEADチャンネル用)
- ・マスターボリュームノブ&マスターブースト機能
- ・レゾナンス&プレゼンスノブ
- ・MSDI(マイクシミュレートダイレクトアウトプット/XLR)機能 レベル&トーンコントロールノブ付き
- ・エフェクトループ(2系統) フットスイッチでON/OFFの切り替え可能
- ・MIDIイン&MIDIアウトジャック
- ・9VDCパワーサプライ(2系統)
- ・120W出力(RMS), 4Ω/8Ω/16Ω インピーダンス切り替え可能
- ・ハーフパワースイッチ(120Wから60Wに切り替え可能)
- ・フットスイッチ付属

フロントパネル



(1) 電源スイッチ

アンプの主電源となります。このスイッチをONにすると、(3)の電源ステータスランプが青く点灯します。

(2) スタンバイスイッチ

(1)の電源をONにし、しばらく真空管を温めた後、このスイッチをONにするとアンプに電気が供給され、音を出すことができます。なお、スタンバイスイッチをONにする前に、少なくとも5分は真空管を温めてください。

注意: (24)のアウトプットジャックにスピーカーケーブルを繋がずに、このスイッチをONにした状態で長時間放置すると、故障の原因となりますので、ご注意ください。

(3) 電源ステータスランプ

アンプの主電源がONになっている場合、このランプが青く点灯します。

(4) マスターボリューム

各チャンネルの音量&トーン調整を行った後、このノブでアンプ全体の音量を調整します。

注意: ここで調整する音は、エフェクトループを通った音となります。

(5) レゾナンス&プレゼンス

パワーアンプ部分のダンピングファクターを調整します。

上段のプレゼンスのノブを右に回すと、EQ HIGHの調整可能音域よりもさらに高音域の周波数帯がブーストされます。

また、下段のレゾナンスを右に回すと、EQ LOWの調整可能音域よりもさらに低音域の周波数帯がブーストされます。この2つのノブは、全チャンネル共通となります。

(6) ポストゲイン

CRUNCHチャンネルとLEADチャンネルの各ボリュームをこのノブで調整します。

(7) ロー、ミドル、ハイEQ

LOW(ロー/低音域)、MID(ミドル/中音域)、HIGH(ハイ/高音域)の各ノブでCRUNCHチャンネルとLEADチャンネルの各トーンを調整します。

このノブは両チャンネル共通となります。

(8) プリゲイン

CRUNCHチャンネルとLEADチャンネルの各インプットボリューム(ゲイン)レベルを調整します。このノブを右に回すと歪みとサステインが増します。

(9) ブーストセクション

CRUNCHチャンネルとLEADチャンネルのブースト量を調整します。

上段のTONEノブを右に回すと高音域が強調されます(フットスイッチでON/OFF切り替え可能)。

下段のLEVELノブを右に回すとゲインレベルが上がります。

(10) スレッシュホールドゲート

CRUNCHチャンネルとLEADチャンネル選択時に、入力された音に対するゲート機能の強さを調整します(フットスイッチでON/OFF切り替え可能)。

ノブを右に回すほどゲートが強くなり、アタックが強調されます。

(11) チャンネル

このスイッチで3つのチャンネル(CLEAN/CRUNCH/LEAD)を選択します。

各チャンネルが選択されている時、該当するLEDが点灯します。

また、付属のフットスイッチでもチャンネルを選択することが可能です。

(12) ポスト (ボリューム)

CLEANチャンネルの音量をこのノブで調整します。

(13) ロー、ミドル、ハイEQ

LOW(ロー/低音域)、MID(ミドル/中音域)、HIGH(ハイ/高音域)の各ノブでCLEANチャンネルの各トーンを調整します。

(14) プリ (ゲイン)

CLEANチャンネルのインプットゲインをこのノブで調整します。

(15) ブーストセクション

CLEANチャンネル専用のブーストセクションとなります。

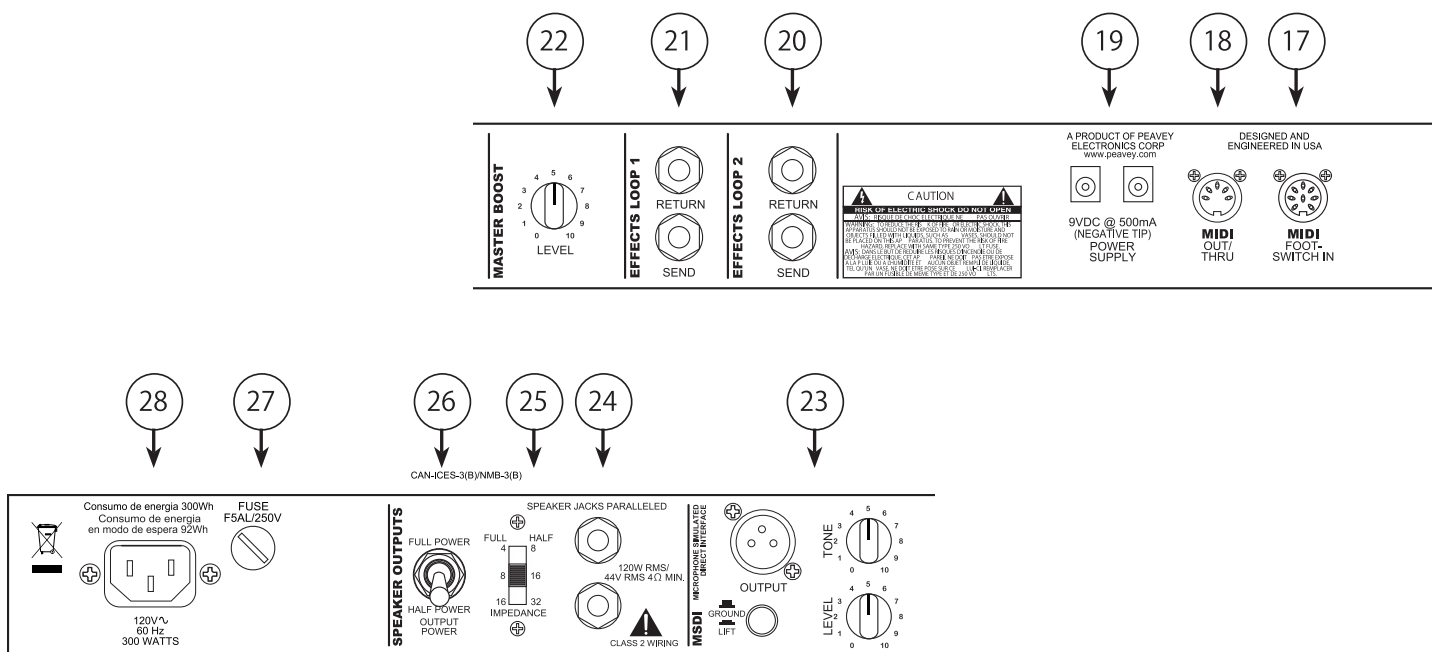
上段のTONEノブを右に回すと高音域が強調されます。

下段のDRIVEノブを右に回すと、クラシックなオーバードライブの歪みが得られます。

(16) インプット(フォーンジャック)

エレキギターのアウトプットをこのジャックに挿します。

また、パッシブピックアップ/アクティブピックアップのどちらにも対応します。



(17) MIDI IN/フットスイッチ

この8-pin DINコネクタは付属のフットスイッチコントローラーとの接続に使用します。付属のフットスイッチの詳細な説明に関しては、本マニュアルのフットスイッチの説明箇所(P.8)をご参照ください。もし付属のコントローラーではなく、標準の5-pin DIN対応のMIDI機能搭載のフットスイッチにて本機をコントロールされる場合も、こちらのコネクタをご使用していただくことが可能です。MIDI機能に関しては、本マニュアルのMIDIの説明箇所(P.11)をご参照ください。

(18) MIDI OUT

この5-pin DINコネクタはプログラムチェンジ等の信号を外部機器に送るために使用します。この端子は、2台のアンプをリンクさせ、両機のMIDI設定を同期させることができます。また、事前にユーザー側でプリセットしたデータをもう1台のアンプやMIDIのバックアップ機器と共有することができます。そして、(20) (21)エフェクトループに接続しているエフェクターの制御も同時に行うことができます。MIDI機能に関しては、本マニュアルのMIDIの説明箇所(P.11)をご参照ください。

(19) 9VDC AUXパワーサプライ

コンパクトエフェクター用のDCパワーサプライです。各端子の電流容量は500mAとなります。

(20 and 21) エフェクトループ

本機に入力された音を外部エフェクターと接続する時に使用します。この SEND & RETURN 端子はシリーズ回路となります。
 ※このループは外部エフェクターへ送るレベルに影響を与えないよう、回路上、マスターブーストの後、マスターボリュームの前に位置します。

(22) マスターブースト

ボリュームのブースト量をこのノブで調整します(フットスイッチでON/OFFの切り替え可能)。ブースト音量は0dB~5dBとなります。
 ※このブーストは回路上、エフェクトループの前に位置します。

(23) MSDIセクション

Peavey独自技術のMSDI(マイクシミュレートダイレクトインターフェース/XLR)端子は、本機をキャビネットに接続した時のサウンドを忠実に再現し、外部機器やミキサーと接続することができます。レベルノブはXLR端子から出力される音量を調整し、トーンノブは超高音域の周波数帯を調整します。MSDIのアウトのみを使用して演奏する場合、会場で使われているスピーカーによって最終的に出力されるサウンドが左右されます。その時はこのノブを使用し、スピーカーに合うように高音域の調整を行ってください。グランドリフトスイッチは、本機と外部機器の間でグランドループノイズが発生した場合に使用します。通常はグランドの状態でご使用ください。

(24) スピーカーアウトプット

スピーカーキャビネットとの接続に使用します。ご使用の際は、アンプのインピーダンススイッチの値とキャビネットのインピーダンスが合っていることを必ずご確認ください。また、楽器用のケーブルではなく、高品質のスピーカーケーブルを必ずご使用ください。

(25) インピーダンスセレクター

スピーカーキャビネットのインピーダンスに合わせた値を設定します。同じインピーダンスのキャビネットを2台使用する場合、アンプ側のインピーダンスは、キャビネットのインピーダンスの半分の値に設定します。例えば、16Ωのキャビネットを2台使用する場合は、8Ωに設定してください。8Ωキャビネットが2台の場合は4Ωとなります。なお、ハーフパワーモードで本機を使用する場合は、インピーダンスが倍の値になります。セレクターの左側に記載されている値がフルパワーモード、右側に記載されている値がハーフパワーモードのインピーダンスの値となりますので、アンプの(1)電源をONにする前に、キャビネットと本機のインピーダンスが合っているかを必ずご確認ください。

(26) アウトプットパワー

このスイッチで、最大出力レベルをフルにするか、またはハーフにするかを選択します。なお、ハーフを選択した際、4本搭載されているパワー管の内、2本分の出力をシャットダウンします。

(27) ACメインヒューズ

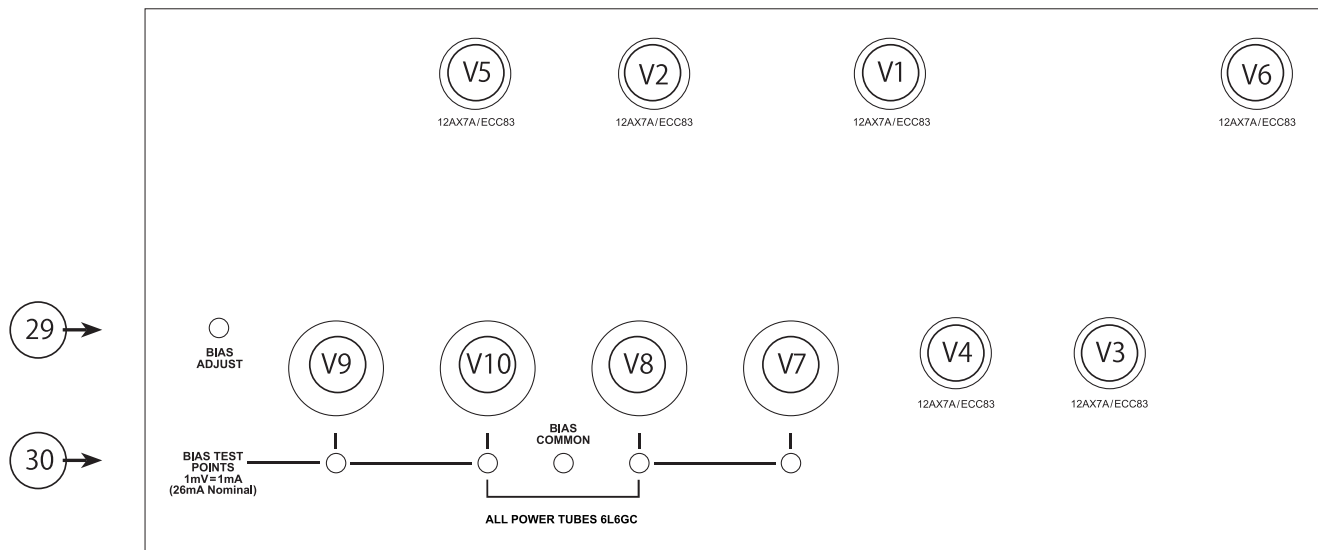
ヒューズはアンプの主電源用に取り付けられており、ヒューズホルダーのキャップ内に収められています。ヒューズを交換する時は、必ず同じヒューズをお使いください。もし違うタイプのヒューズを使用し、アンプが損傷した場合、メーカーの正規保証期間内修理を受けることはできません。ヒューズが何度も切れてしまう場合は、購入された販売店経由でPeavey国内正規代理店へ修理に出してください。



警告: ヒューズを交換する際は、必ず電源コードを本機から外した状態で行ってください。

(28) ACコネクタ

電源ケーブルを接続します。電源ケーブルは必ず本機に付属しているケーブルをご使用ください。また、コンセントに接続する前に必ず電源コードをアンプに接続してください。



12AX7A/ECC83 x 6

プリ管 各プリ管の機能は以下の通りになります。

- V1 = クランチ/リードステージ 1/2
- V2 = クランチ/リードステージ 3/4
- V3 = ループドライバー/PI ドライバー
- V4 = 位相インバーター
- V5 = クランチ/リードステージ 5/6
- V6 = クリーンチャンネル

6L6GC x 4

パワー管

6L6GCだけでなく、EL34, 6550, KT66, KT88, 6CA7と差し替えることも可能ですが、お客様自身で行われると怪我や事故に繋がる可能性もあるため、パワー管の交換に関しては、必ず購入された販売店へご相談の上、Peavey国内代理店へご連絡ください。（別途有料となります）

お客様自身で行われた真空管交換時に発生した故障や損害に関しては、いかなる理由においてもメーカーの正規保証修理を受けることはできません。

なお、パワー管の経年劣化による交換は、メーカーの正規保証の対象外となります。

(29) バイアス調節ポイント

バイアス値の調整に使用します。

調整方法を間違えると、パワー管の損傷やアンプ自体の故障につながります。

バイアス調整に関しては、必ず購入された販売店へご相談の上、Peavey国内代理店へご相談ください。

(30) バイアステストポイント

各パワー管のプレート電流を計測するために使用します。



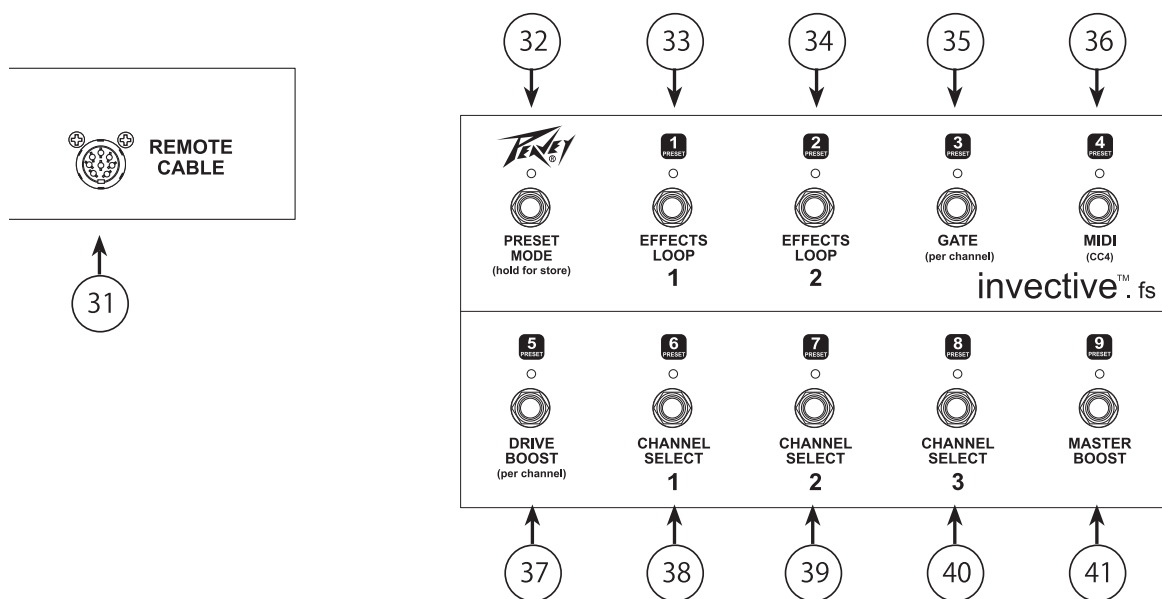
警告：リアパネルを外すと、露出した真空管が触れられる状態になります。

使用後の真空管は非常に高温で、直接触れると火傷をする恐れがあります。

そのため、お客様自身でリアパネルを外すことはおやめください。

もし何か内部に異常がある、またはその可能性がある場合は、

必ず購入された販売店へご相談の上、Peavey国内代理店へご連絡ください。



(31) リモートケーブル

本機とフットコントローラーを、付属の8-pin DINケーブルで接続する際に使用します。その際アンプ側は(17)イン/フットの端子を使用します。

(32) プリセットモード

フットコントローラーのノーマルモード(出荷時 LED OFF)とプリセットモード(赤いLED点灯)を切り替える際に使用します。その他のLEDはノーマルモードでは緑色に、プリセットモードでは赤く点灯します。
(「プリセットモードの使用に関して」参照)

(33) エフェクトループ1/プリセット#1

ノーマルモード: エフェクトループ1をONにする際に使用します。
プリセットモード: プリセット1を選択する際に使用します。選択時にLEDが赤く点灯します。

(34) エフェクトループ2/プリセット#2

ノーマルモード: エフェクトループ2をONにする際に使用します。
プリセットモード: プリセット2を選択する際に使用します。選択時にLEDが赤く点灯します。

(35) ゲート/プリセット#3

ノーマルモード: チャンネル2または3の選択時に、ゲート機能をONにする際に使用します。
プリセットモード: プリセット3を選択する際に使用します。選択時にLEDが赤く点灯します。

(36) MIDI CC4/プリセット#4

ノーマルモード: 外部MIDIコントローラーにCC4の0を送信し、点灯時は127を送信します。
プリセットモード: プリセット4を選択する際に使用します。選択時にLEDが赤く点灯します。

(37)ドライブブースト/プリセット#5

ノーマルモード: 選択しているチャンネルのドライブブーストのON/OFFを切り替えます。
チャンネルを切り替えた際、一つ前のセッティングでのドライブブーストの状態(ON又はOFF)が記憶されます。また、ドライブブーストがONになっている際は、LEDが緑色に点灯します。
プリセットモード: プリセット5を選択する際に使用します。選択時にLEDが赤く点灯します。

(38)チャンネルセレクト1/プリセット#6

ノーマルモード: チャンネル1を選択する際に使用します。選択時にLEDが緑色に点灯します。
再度このボタンを押すと、一つ前のセッティングに戻ることができます。
これにより、一つのボタンで2つのチャンネルを素早く切り替えることができます
例えば、(38)のボタンを押してチャンネル1を選択、その後(40)のボタンを押してチャンネル3を選択。
この状態で、再度(40)のボタンを押すとチャンネル1が選択されます。
プリセットモード: プリセット6を選択する際に使用します。選択時にLEDが赤く点灯します。

(39)チャンネルセレクト2/プリセット#7

ノーマルモード: チャンネル2を選択する際に使用します。選択時にLEDが緑色に点灯します。
再度このボタンを押すと、一つ前のセッティングに戻ることができます。
これにより、一つのボタンで2つのチャンネルを素早く切り替えることができます。
プリセットモード: プリセット7を選択する際に使用します。選択時にLEDが赤く点灯します。

(40)チャンネルセレクト3/プリセット#8

ノーマルモード: チャンネル3を選択する際に使用します。選択時にLEDが緑色に点灯します。
再度このボタンを押すと、一つ前のセッティングに戻ることができます。
これにより、一つのボタンで2つのチャンネルを素早く切り替えることができます
プリセットモード: プリセット8を選択する際に使用します。選択時にLEDが赤く点灯します。

(41)マスターブースト/プリセット#9

ノーマルモード: マスターブーストをONにする際に使用します。選択時にLEDが緑色に点灯します。
プリセットモード: プリセット9を選択する際に使用します。選択時にLEDが赤く点灯します。

プリセットモードの使用に関して

チャンネルのセレクト、ドライブブースト ON/OFF、ゲート ON/OFF、CC4 ON/OFF、エフェクトループ ON/OFF、そしてマスターブースト ON/OFFの各セッティングを9つのプリセットにそれぞれ保存することができます。
そして、使用していないチャンネルのドライブブーストやゲートの状態(ON/OFF)も記憶することができます。
例えば、チャンネル1を、ドライブブーストの機能をOFFにした状態で選択している状態から、チャンネル2を選択した際にドライブブーストをONにした状態になるようにプリセットを設定することができます。
本機は工場出荷時に9つのプリセットが組み込まれていますが、プリセットモードのLED点灯時、各プリセットを任意の設定に変更することができます。

プリセットの保存に関して

9つのプリセット内の1つとして今選択しているセッティングを保存するために、(32)プリセットモードスイッチを数秒押し続けてください。
その後、他のLEDが点滅し始めますので、(現在選択しているプリセット番号のLEDは点滅しません)
保存したいプリセット番号のスイッチを押すと、その番号にアサインされます。
LEDが点滅している状態でもう一度(32)プリセットモードスイッチを押すと、プリセットの保存がキャンセルされます。
なお、このプリセットの保存は、プリセットモード/ノーマルモードのどちらからでも行うことができます。
(※プリセットモードに設定しなくても、9つのプリセットの設定をノーマルモードから行うことができます。)
プリセットの保存完了(またはキャンセル)後、直前に使用していたモードへ戻ります。

クイックブーストに関して

先に記載されている通り、プリセットモードでは、9つのスイッチから任意のプリセットを選択することができます。このプリセットモードでは、選択したプリセット番号のスイッチをもう一度押すことで、(41)マスターブーストのON/OFFを切り替えることができます。例えば、リードチャンネル+マスターブーストOFFのセッティングをプリセット1に保存し、選択した場合、再度プリセット1のスイッチを押すと、マスターブーストがONになります。これにより、素早くサウンドをブーストすることができます。マスターブーストをONにした設定をプリセットに保存することも勿論可能です。マスターブーストがONになっている時は、マスターブーストのLEDが緑色に点滅します。なお、プリセット9を選択し、マスターブーストがONになっている時は、LEDが赤と緑の交互に点滅します。

MIDIアウトを使用するのアンプやエフェクター機器と同期に関して

本機のMIDIアウトともう一台のinvective120のMIDI インを接続することにより、2台のinvective120を同期させることができます。フットスイッチは最初の1台に接続し、そのフットスイッチ(またはフロントパネル)で行う設定が、同じMIDIチャンネルだった場合、もう1台のinvective120に反映されます。詳しくはMIDIプログラムの設定をご参照ください。

また、外部のエフェクター機器を本機(または同期しているもう1台のinvective)とMIDIで同期させることもできます。もし外部のエフェクター機器にプリセットの保存機能が搭載されている場合、本機付属のフットスイッチでプリセットを選択した時に、エフェクター機器側のプリセットを同時に変更することができます。

プリセットが呼び出されると、CC4のコントロール状態(CC4の状態に基づいて0または127)とCC10のコントロール状態(マスターブースト機能の状態に基づいて0または127)と一緒に、プログラムチェンジコマンドが送信されます。これにより、MIDI端子搭載のエフェクター機器は、このコントロール状況に応じディレイのオン/オフなどを行うことができます。他のフットスイッチでもCCコントロールに関する信号を送ることはできますが、プリセットリコールの際は、先述した2点のようなCCコマンドは送信しません。

(マスターブーストはCC9とCC10を送信します。CC9はもう1台のinvective120のコントロール用、プリセットリコールで同期したCC10は外部エフェクター機器のコントロール用となります)。

詳しくは各機能に関してのMIDIのCCナンバーを記載した一覧をご参照ください。

MIDI IMPLEMENTATION

本機は付属のフットスイッチで多様な機能が使用できるように設計されています。
 8-pinフットスイッチジャックは、標準5-pin MIDIインプットとして
 使用(標準5-pin MIDIアウトと接続可能)することができます。
 以下の情報は、本機を付属のフットコントローラーではなく、他のMIDIコントローラーや、
 MIDI経由で同期させたもう1台のinvective120をコントロールする場合にご参照ください。

注意: 本機のMIDIアウトは同期したもう1台のinvective120や
 (リモートコントロールやプリセット信号出力の相互通信として)PC、またはエフェクトループに
 接続した外部エフェクト機器にデータを送信するために使用することができますが、
 アウト/スルーとして使用することはできません。
 すなわち、MIDIインで受信したデータは、本機に適用されてるものでない限り、
 MIDIアウトから出力されるデータとはなりません。
 MIDI CC: MIDIコンティニューアスコントローラーは一度に1つの機能を変更するのに使用します。
 プリセット選択後、任意の設定を行うのには下記一覧をご参照ください。
 アンプやフットスイッチ上での設定の変更はMIDIアウトからCCデータとして出力されます。

Bn	CC#	data	where n=chan-1	Data : any
	(Decimal)		(Hex)	
1			01h	Select chan 1
2			02h	Select chan 2
3			03h	Select chan 3
4			04h	Data : 00h-3Fh * Data : 40h-7Fh *
5		05h		Drivr Boost 1 OFF Drive Boost 1 ON
6		06h		Drivr Boost 2 OFF Drive Boost 2 ON
7		07h		Drivr Boost 3 OFF Drive Boost 3 ON
8		08h		Drivr Boost OFF Drive Boost ON (active channel)
9		09h		** **
10		0Ah		Master Boost OFF Master Boost ON
11		0Bh		FX Loop 1 OFF FX Loop 1 ON
12		0Ch		FX Loop 2 OFF FX Loop 2 ON
13		0Dh		Gate 2 OFF Gate 2 ON
14		0Eh		Gate 3 OFF Gate 3 ON
15		0Fh		Gate OFF Gate ON (active chan, 2 or 3)

*これに対してアンプは反応しませんが、外部MIDI機器をコントロールするために、
 フットスイッチのプリセット/CC4の状態に基づいたデータを送信します。

**これに対してアンプは反応しませんが、外部MIDI機器をコントロールするために、
 フットスイッチのプリセット/CC4の状態に基づいたデータを送信します。

例: B0 0A 7F はマスタブースト (MIDI チャンネル1) を有効にします

MIDI PROGRAM

MIDIプログラムチェンジはプリセットを呼び出すのに使用します。

プリセットはアンプ上の機能を一度に再設定します。

ただし、下記プログラム9-11は、チャンネルにのみ影響するため、例外となります。

注意：これらのデータを受信した際、同期しているもう1台のinvective120と接続しているMIDIアウトジャックからも出力されます。

注意：最初の9つのプリセットはカスタムプリセットとなります。これらはフットコントローラーの各スイッチに割り当てられ、呼び出すことができます。

Cn data (Decimal)	where n=chan-1 (Hex)	CHANNEL	DRIVE BOOST (preset saves for ...all three channels)	MASTER BOOST	CC 4	GATE (preset saves for ...channels 2 & 3)	FX LOOP 1	FX LOOP 2
0	00h	<-----		preset 1	----->			
1	01h	<-----		preset 2	----->			
2	02h	<-----		preset 3	----->			
3	03h	<-----		preset 4	----->			
4	04h	<-----		preset 5	----->			
5	05h	<-----		preset 6	----->			
6	06h	<-----		preset 7	----->			
7	07h	<-----		preset 8	----->			
8	08h	<-----		preset 9	----->			

例： C0 00 ははじめにプリセット (MIDI チャンネル1)を呼び出します

Channel only :

9	09h	1	no change	no change	no change	no change	no change	no change
10	0Ah	2	no change	no change	no change	no change	no change	no change
11	0Bh	3	no change	no change	no change	no change	no change	no change

下記ファクトリーマップは、本機の全機能の組み合わせを表したリストとなります。

MIDI機器経由で自動的に操作を行う場合、これらの機能の組み合わせは二進表で確認することができます。

注意：MIDIには制限があるため、CC4機能はファクトリーマップではなく、
カスタムプリセットでのみコントロールすることが可能です。
この仕様を変更したり、消去することはできません。

blank = OFF ; X = ON ; n/a = not applicable

Factory Map: (decimal)	(hex)	CHANNEL	DRIVE BOOST	MASTER BOOST	GATE	FX LOOP 1	FX LOOP 2
12	0Ch	1			n/a		
13	0Dh	2					
14	0Eh	3					
15	0Fh	1	X		n/a		
16	10h	2	X				
17	11h	3	X				
18	12h	1		X	n/a		
19	13h	2		X			
20	14h	3		X			
21	15h	1	X	X	n/a		
22	16h	2	X	X			
23	17h	3	X	X			
24	18h	1			n/a		
25	19h	2			X		

Factory Map:		CHANNEL	DRIVE BOOST	MASTER BOOST	GATE	FX LOOP 1	FX LOOP 2
(decimal)	(hex)						
26	1Ah	3			X		
27	1Bh	1	X		n/a		
28	1Ch	2	X		X		
29	1Dh	3			X		
30	1Eh	1	X	X	n/a		
31	1Fh	2	X	X	X		
32	20h	3	X	X	X		
33	21h	1	X	X	n/a		
34	22h	2	X	X	X		
35	23h	3	X	X	X		
36	24h	1			n/a	X	
37	25h	2				X	
38	26h	3				X	
39	27h	1	X		n/a	X	
40	28h	2	X			X	
41	29h	3	X			X	
42	2Ah	1		X	n/a	X	
43	2Bh	2		X		X	
44	2Ch	3		X		X	
45	2Dh	1	X	X	n/a	X	
46	2Eh	2	X	X		X	
47	2Fh	3	X	X		X	
48	30h	1			n/a	X	
49	31h	2			X	X	
50	32h	3			X	X	
51	33h	1	X		n/a	X	
52	34h	2	X		X	X	
53	35h	3	X		X	X	
54	36h	1		X	n/a	X	
55	37h	2		X	X	X	
56	38h	3		X	X	X	
57	39h	1	X	X	n/a	X	
58	3Ah	2	X	X	X	X	
59	3Bh	3	X	X	X	X	
60	3Ch	1			n/a		X
61	3Dh	2					X
62	3Eh	3					X
63	3Fh	1	X		n/a		X
64	40h	2	X				X
65	41h	3	X				X
66	42h	1		X	n/a		X
67	43h	2		X			X
68	44h	3		X			X
69	45h	1	X	X	n/a		X
70	46h	2	X	X			X
71	47h	3	X	X			X
72	48h	1			n/a		X
73	49h	2			X		X

Factory Map: (decimal)	(hex)	CHANNEL	DRIVE BOOST	MASTER BOOST	GATE	FX LOOP 1	FX LOOP 2
74	4Ah	3			X		X
75	4Bh	1	X		n/a		X
76	4Ch	2	X		X		X
77	4Dh	3	X		X		X
78	4Eh	1		X	n/a		X
79	4Fh	2		X	X		X
80	50h	3		X	X		X
81	51h	1	X	X	n/a		X
82	52h	2	X	X	X		X
83	53h	3	X	X	X		X
84	54h	1			n/a	X	X
85	55h	2				X	X
86	56h	3				X	X
87	57h	1	X		n/a	X	X
88	58h	2	X			X	X
89	59h	3	X			X	X
90	5Ah	1		X	n/a	X	X
91	5Bh	2		X		X	X
92	5Ch	3		X		X	X
93	5Dh	1	X	X	n/a	X	X
94	5Eh	2	X	X		X	X
95	5Fh	3	X	X		X	X
96	60h	1			n/a	X	X
97	61h	2			X	X	X
98	62h	3			X	X	X
99	63h	1	X		n/a	X	X
100	64h	2	X		X	X	X
101	65h	3	X		X	X	X
102	66h	1		X	n/a	X	X
103	67h	2		X	X	X	X
104	68h	3		X	X	X	X
105	69h	1	X	X	n/a	X	X
106	6Ah	2	X	X	X	X	X
107	6Bh	3	X	X	X	X	X

MIDIシステムエクスクルーシブは、基本的な操作では扱わない内容に対応するために使用します。本機では、システムエクスクルーシブを使用することにより、ユーザープリセットの保存や呼び出し、そして、リンクしているもう1台のアンプへその情報を送信することができます。

注意: 下記事項を除き、アンプに入力された信号はMIDIアウトジャックには反映されませんが、1台目のアンプにマッチングしたMIDIチャンネルがなく、リンクしている2台目にそのチャンネルがある場合は、その設定がMIDIアウトジャックに反映されます。

9-preset dump

request: F0h 00h 00h 1Bh 16h MIDI chan - 1 00h F7h
(0~15) (no data)

アンプがこのコマンドを受信すると、9つのプリセット信号をMIDIアウトジャックへ送信します(以下参照)。もし、もう一台のinvectiveのインのジャックに繋がれて、同じMIDIチャンネルの場合、プリセットはもう1台のアンプへコピーされます。MIDIアウトには9つのユーザーカスタムプリセットを保存する機器を接続してください。

9-preset dump: F0h 00h 00h 1Bh 16h MIDI chan - 1 01h 36 nibbleized bytes F7h
(receive or send) (0~15) (presets 0-8)

アンプがこのコマンドを受信すると、9つのユーザーカスタムプリセットを、コマンドされたデータで上書きします(9プリセット×4ニブル/バイト)。もし2台目のアンプがMIDIアウトに接続されて、同じMIDIチャンネルの場合は、送信されたデータが反映されます。アンプは上記の設定を受信すると、このデータを送信します。加えて、この出力はチャンネル1のドライブボタンを押し続け、チャンネルセレクトボタンを押すことによって、手動で初期化することができます。

current setting

dump request: F0h 00h 00h 1Bh 16h MIDI chan - 1 04h F7h
(0~15) (no data)

アンプがこのコマンドを受信すると、今設定している状態のデータをMIDIアウトジャックへ送信し、現状のセッティングをアンプとディスプレイで同期させることができます。このセッティングは、もしストンプモードで修正され、保存されていないならば、9つのプリセットとは異なります。

current setting

dump: F0h 00h 00h 1Bh 16h MIDI chan - 1 05h 4 nibbleized bytes F7h
(0~15) (current audible setting)

アンプはリクエスト時にこのデータを送信しますが、もし受信した場合は何も起こりません。現状のセッティングがコントローラーかプログラムチェンジデータで簡単に設定することができます。そのため、この方法はインプットデータとしてサポートされていません。

preset store: F0h 00h 00h 1Bh 16h MIDI chan - 1 06h preset # - 1 F7h
(0~15) (0~8)

アンプがこのコマンドを受信すると、現状のセッティングを9つのカスタムプリセットの1つとして保存します。なお、プリセットはMIDI CCコマンドを利用して変更することができます。プリセットに問題がなければ、このコマンドで9つのプリセットのうちの1つに保存することができます。これはPCでのリモートコントロールまたはエディターアプリケーションを作成する方法です。この設定は同じチャンネルを選択している時に限り、2台目のアンプにも反映されます。

Power Amplifier Section:

Rated Power & Load:

120W(rms) into 16, 8, or 4 Ohms

Power @ Clipping:

(Typically @ 5% THD, 1kHz, 120VAC line)

130W(rms) into 16, 8, or 4 Ohms

(Bias must be reduced to measure)

Frequency Response:

+0, -3dB, 50Hz to 20kHz, @ 100W(rms) into 8 Ohms

Hum & Noise:

Greater than 78dB below rated power

Power Amp EQ:

Active Presence: +10dB @ 2kHz

Active Resonance: +10dB @ cabinet resonant frequency

Power Consumption:

400W 50/60Hz, 120VAC (Domestic)

Pre-amp Section:

The following specs are measured @ 1kHz with the controls preset as follows:

Low & High EQ @ 10

Mid EQ @ 0

Post Gains @ 10

Resonance & Presence @ 0dB

Nominal levels with Pre Gains @ 5

Minimum levels with Pre Gains @ 10

All Gain boosts OFF

Gate OFF

All loops ON

Master Boost ON

Preamp Input:

Impedance: Very High Z, 470K Ohms

LEAD CHANNEL:

Nominal Input Level: -80dBV, 0.1mV(rms)

Minimum Input Level: -92dBV, 0.025mV(rms)

CRUNCH CHANNEL:

Nominal Input Level: -50dBV, 3.0mV(rms)

Minimum Input Level: -66dBV, 1.4mV(rms)

Maximum Input Level: -16dBV, 45mV(rms)

CLEAN CHANNEL:

Nominal Input Level: -8.0dBV, 400mV(rms)

Minimum Input Level: -21dBV, 90mV(rms)

Maximum Input Level: 0.0dBV, 1.0V(rms)

Effects Send

Load Impedance: 1k Ohms or greater

Nominal Output: -10dBV, 300mV(rms)

Effects Return:

Impedance: Very High Z, 470K Ohms

Designed Level: -10dBV, 300mV(rms)

System Hum & Noise @ Nominal Level:

(Clean Channel; 20Hz to 20kHz unweighted)

Greater than 78dB below rated power

Equalization:

Custom Low, Mid & High passive type EQ

Auxiliary Power Supply Jacks (x2):

9V DC (negative tip) @ 500mA

Dimensions: 26.7" W x 11.8" D x 10.0" H (678mm W x 300mm D x 254mm H)

Weight: 48.3lbs (21.9kg)

注記:仕様は、予告なく変更になる場合があります。

また本測定データは120V仕様の測定値になります。



Ippinkan Corporation
Musical Instruments Division

株式会社 逸品館 MI事業部

〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東6-8-20

Tel : 045-633-7530 Fax : 045-633-7531

E-mail : ippinkan.mi@otoiwase.jp

Web : peavey.jp/